

事務事業名	丸岡総合福祉保健施設管理運営事業		事業コード	03010300106	
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	前田 英邦
事業対象	指定管理者、利用者、一般市民				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	地域福祉の充実		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	施設の管理および温泉棟の運営
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

総合的な地域福祉の拠点である丸岡総合福祉保健施設の安全で適正かつ効果的、効率的な管理を行う。

◆丸岡総合福祉保健施設管理運営事業 62,650千円
 ○需用費（機械器具修繕料） 169千円
 ○委託料（指定管理委託料） 56,000千円
 委託先：株式会社 コーワ 期間：H25.4.1～H27.3.31
 ○工事請負費（地下機械室等排水槽工事費他） 6,390千円
 ○その他（火災保険料等） 91千円

【実績・計画】

H20指定管理料	66,000千円	利用人数	275,204人		
事業収入	196,456千円	事業支出	190,630千円	事業収支	5,826千円
H21指定管理料	61,000千円	利用人数	297,491人		
事業収入	196,045千円	事業支出	185,079千円	事業収支	10,966千円
H22指定管理料	61,000千円	利用人数	286,604人		
事業収入	194,658千円	事業支出	184,679千円	事業収支	9,979千円
H23指定管理料	61,000千円	利用人数	299,511人		
事業収入	201,151千円	事業支出	189,019千円	事業収支	12,132千円
H24指定管理料	60,000千円	利用人数	294,851人		
事業収入	195,934千円	事業支出	189,809千円	事業収支	6,125千円
H25指定管理料	56,000千円	利用人数	261,760人		
事業収入	185,265千円	事業支出	190,996千円	事業収支	△5,731千円

◆省エネ対策事業 146千円
 ○使用料及び賃借料（デマンド監視システム使用料） 146千円

予算	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉施設費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円			
			委託費	56,000千円	千円	千円	千円			
			需用費	169千円	千円	千円	千円			
			役務費	91千円	千円	千円	千円			
			その他	6,536千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	62,796千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.80人	5,687千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.80人	5,687千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		68,483千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		68,483千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		68,483千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度				
【事業の成果】	成果	顧客満足度（良い以上）	%	目標値	70.0	達成率	50.0	達成率	50.0	達成率	50.0
				実績値	32.9	47	69.6	139.2	69.6	139.2	30.0
活動	活動	利用人数	人	目標値	303,000	達成率	290,000	達成率	287,000	達成率	282,000
				実績値	261,760	86.39	294,851	101.67	299,511	104.36	286,604
活動	活動	利用料収入	千円	目標値	113,330	達成率	114,010	達成率	112,865	達成率	109,090
				実績値	97,780	86.28	109,775	96.29	112,255	99.46	108,498
				目標値		達成率		達成率		達成率	
				実績値							
				目標値		達成率		達成率		達成率	
				実績値							
				目標値		達成率		達成率		達成率	
				実績値							

すぐにできる改善提案	霞の郷温泉内で営業している食堂について、一括して指定管理とすることで指定管理料の削減を図る。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	一括して指定管理としたため指定管理料の削減が図られた。
中長期的に取り組むべき改善提案	総合福祉保健施設となっているため施設ごとの管理運営方法の検討。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	施設設備の一体化されているため、分割管理は困難である。

【担当者評価】	有効性	【事業の成果】事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
		【サービス内容の見直し】成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
		【他事業との統合】類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	妥当性	【市民のニーズ】社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
		【市が実施する妥当性】市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
		【受益の公平性】特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	効率性	【事務の効率化】事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
		【民間活力の導入】事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
		【歳入増加策】受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	指定管理者制度を導入し、民間事業者により運営されていますが、さらに効率的な管理運営を検討していきます。			
実施主体の方向性	民間への移管を検討します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	指定管理者が運営しており、利用者の満足度の向上をめざし、更なるサービスの向上と効率的な運営を図るため、民間への移管も検討していきます。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	行政からの資金投入が多くなってきており、今後は受益者負担額の見直しや民間への移管も検討していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	指定管理者との連携は効率的に行われており、現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	施設の維持管理の適正化を進めるとともに、利用者へのサービス向上を図り利用者増につなげます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	総合福祉保健施設としての機能を発揮するため、施設ごとの管理運営方法の検討を行います。			
目標年度 平成28 年度				

【事業の成果】

成果	顧客満足度（良い以上）	%	目標値	70.0	達成率	50.0	達成率	50.0	達成率	50.0
活動	利用人数	人	目標値	303,000	達成率	290,000	達成率	287,000	達成率	282,000
活動	利用料収入	千円	目標値	113,330	達成率	114,010	達成率	112,865	達成率	109,090

事務事業名	敬老会事業 丸岡			事業コード	03010400106	
所管部署	福祉課（丸岡支所）	電話	68-0805	記入者名	早水 雅章	
事業対象	75歳以上の高齢者					
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	高齢者福祉の充実		事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	会場設営・式典司会・アトラクション等	
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					
事業の概要	長年のご労苦に感謝し、敬愛の意を表すとともに、その長寿をお祝いするために開催します。					
	昭和13年12月31日以前に生まれ、丸岡町に住民登録のある方を招待して開催いたしました。					
事業の目的・事業の概要等	開催日	6月9日(日)				
	開催場所	丸岡体育館				
事業費	内容	式典、敬老作文、郷土芸能、アトラクション				
	事業費	報酬	113千円	報償費	113千円	
事業費	○ 報償費	113千円	○ 需用費	2,153千円	○ 役務費	32千円
	○ 需用費	2,153千円	○ 委託料	1,685千円		
○ 役務費	32千円					
○ 委託料	1,685千円					

【前年度改善案に対する取組状況】	すぐに行ける改善提案	平成26年度からの地区別開催に向けて、地元との協議を細部に渡って進めます。
目標年度	平成26年度	
取組状況	高齢福祉課を中心に地域との調整を図っている。	
中長期的に取り組むべき改善提案	地区別開催の参加者の出席状況を考慮しながら、これからの敬老会の在り方を検討していきたい。	
目標年度	平成26年度	
取組状況	高齢福祉課を中心に現状分析と将来予測を行い、今後あるべき敬老会の姿を模索している。	

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	C
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

予算	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	1,684千円	1,646千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	2,153千円	2,120千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	31千円	25千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	113千円	148千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	3,981千円	3,939千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.40人	2,844千円	0.30人	2,133千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.40人	2,844千円	0.30人	2,133千円	人	千円	人	千円
総事業費	6,825千円	6,072千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	分担金・負担金	1,840千円	1,782千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	4,985千円	4,290千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	6,825千円	6,072千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	平成26年度から地域（公民館単位）が実施主体となって開催するよう具体的協議を進めています。			
実施主体の方向性	地域への移管を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	平成26年度からの地区別敬老会の開催に向け、本庁と協力して地元の理解を進めています。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	敬老会の趣旨から参加者の増加が見込まれますが、当面はトータル的に現状維持を目指します。			
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	地区別開催により、事務量の大幅な減少が見込まれますが、地元からの人的支援の要望もあります。			
すぐに行ける改善提案	平成26年度からの地区別開催に向けて、地元との協議を細部に渡って進めます。			
目標年度	平成26年度			
中長期的に取り組むべき改善提案	地区別開催の参加者出席状況を考慮しながら、これからの敬老会のあり方を検討していきたい。			
目標年度	平成26年度			

成果	参加者	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
		目標値	1050	達成率	1050	達成率	1050	達成率	1050
成果	参加率	目標値	26.14	達成率	27.4	達成率	27.4	達成率	28.6
		実績値	25.2	96.4	26.14	95.4	26.8	97.81	27.4
		目標値		達成率		達成率		達成率	
		実績値							
		目標値		達成率		達成率		達成率	
		実績値							
		目標値		達成率		達成率		達成率	
		実績値							
		目標値		達成率		達成率		達成率	
		実績値							

【事業の概要】

【事業の目的・事業の概要等】

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】